

令和5年度
多摩市子ども・若者ワークショップ実施報告書

多 摩 市
令和6年2月

1. 概要

1.1 開催の目的

多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例に基づく今後の取り組みの検討および、(仮称)多摩市子ども・子育てに関する計画の策定に向けて、当事者である子ども・若者のみなさんから意見を伺うため、子ども・若者ワークショップを令和5年11月26日に開催しました。

1.2 開催概要

日時:令和5年11月26日(日曜日)

- ・子どもの部 10:00~12:00
- ・若者の部 14:00~16:00

場所:多摩市立中央図書館 活動室1 (保育室 活動室2)

運営:多摩市児童青少年課、合同会社 MichiLab (多摩市若者会議)

参加者:公募市民(無作為抽出(16~39歳 2,000人)、市HP等での公募)

- ・子どもの部 当日参加者 15名(申込者 20名)

小学生世代(小学4年生以上):	2名
中学生世代:	13名

- ・若者の部 当日参加者 13名(申込者 19名)
※保育利用者1名

高校生世代:	9名
大学生世代:	1名
23歳から39歳まで:	3名

計28名

1.3 プログラム内容(子どもの部、若者の部共通)

1. 開会
2. 市挨拶
3. 条例の説明
4. アイスブレイク
5. グループワーク
6. 発表
7. 閉会

1.4 ワークショップの流れ

<p>①アイスブレイク</p> <p>名前・学年・参加理由等の自己紹介の後、みなさんのおうちにある「これってうちだけ?」と思うルールについて話し合いました。</p>	
<p>②テーブルに置かれた模造紙に意見を記入</p> <p>グループワークは、子どもの部・若者の部それぞれ2つのテーマについて検討しました。参加者が考える意見を模造紙や付箋に自由に書き込みました。</p>	
<p>③グループ内で意見交換</p> <p>参加者同士で意見交換を行い、各テーブルのファシリテーターが、参加者の意見をまとめていきました。</p>	
<p>④発表</p> <p>グループごとに、どのような意見が出たかを発表し、全体共有を行いました。</p>	

2.結果

2.1 子どもの部のテーマと主な意見

【テーマ】

1 子どもの権利を守る取り組みについて考えよう！

①『知ってる？子どもが相談できる場所』

多摩市には子どもの相談先がたくさんあります。「悩み事」に関するカードと「相談先」に関するカードの組み合わせを話し合って考えてみよう。

②『どうしたらもっと相談先を知ってもらえる？』

相談先をもっと知ってもらうために、どのようなツールを、どのように活用したらよいかみんなで考えてみよう！

③『困っている友だちに、どんなことができる？』

困っている友だちがいたときに、みんなはどんなことができるかな？

これまでの経験を振り返り、自分にできることを考えてみよう！

2 挑戦について

①みんなで挑戦について考えてみよう！

みなさんは今、挑戦していることがありますか？また、どんなことに挑戦してみたいですか？好きなことや、興味のあることに結びつけて考えてみよう！

②どうしたら挑戦しやすくなる？

①で出たことについて、これからすぐに挑戦することができそうですか？

挑戦するうえで、周りの大人や、地域・企業・市役所などに後押ししてほしいことはありますか？

【主な意見】

○子どもの相談先を知ってもらうことについて

- ・SNS(LINE、X等)で情報発信する。
- ・YouTube や動画を活用する。
- ・ポスターやチラシを作成し、公共施設に展示・配架および学校等で配布する。(色を使って、目を引く。配布頻度を多くする。)
- ・先生が生徒に紹介する。学校の授業で取り上げる。
- ・相談例を載せて、解決までの流れや、その相談場所で何ができるかをわかるようにする。
- ・SNSは、相手が分かりにくく、馴染めない人がいるからチラシのほうが良い。

○困っている友だちにできることについて

- ・相談に乗って、自分が協力できることはやる。難しい場合は相談できる場所を教えてあげる。
- ・体験を話す。
- ・味方になる。
- ・相手を肯定する。
- ・大人に頼る。
- ・相談先のチラシを渡す。

○挑戦していること、したいことについて

- ・英検 2 級、英語
- ・韓国語
- ・テストの点数を上げる
- ・バスケ
- ・サッカー
- ・水泳
- ・走り高跳び
- ・体力測定をAにしたい
- ・筋トレ
- ・ピアノ
- ・洋服会社の起業
- ・社会の先生
- ・漫画・小説を描く
- ・電車の運転

○挑戦するうえで後押ししてほしいことについて

- ・練習する場所が欲しい。
- ・集中できる場所（静かすぎず、うるさすぎない）と時間が欲しい。
- ・学校が生徒の好きなことをできるための機会を設けてほしい（専門分野を学べる教室や会社見学の機会など）。
- ・肯定してほしい。
- ・学校の時間（学活など）を減らしてほしい。
- ・空き家の活用による場所の提供
- ・経験談を聞ける場所・機会の提供

2.2 若者の部のテーマと主な意見

【テーマ】

1 挑戦について

①みんなで挑戦について考えてみよう！

みなさんは今、挑戦していることがありますか？また、どんなことに挑戦してみたいですか？好きなことや、興味のあることに結びつけて考えてみよう！

②どうしたら挑戦しやすくなる？

①で出たことについて、これからすぐに挑戦することができそうですか？

挑戦するうえで、周りの大人や、地域・企業・市役所などに後押ししてほしいことはありますか？

2 少子化対策について

①『結婚前』、『結婚』、『妊娠・出産』、『子育て』のステージがある中で、現在の少子化対策に何が足りないと思うか考えてみましょう。

また、少子化によって起こりうる問題について、考えてみましょう。

②①で出た、足りない部分について、どのような支援策があると良いか考えてみましょう。

③その②で出た内容について、自分や地域でできることは何か、考えてみましょう。

【主な意見】

○挑戦していること、したいことについて

- ・受験
- ・英検準1級
- ・学校の校則を変える
- ・(授業の一環で) 条例づくり
- ・公務員試験の勉強
- ・外資系企業に勤めたい
- ・太陽系の探査
- ・政策コンテスト
- ・おはやし

○挑戦するうえで後押ししてほしいことについて

- ・若者のための無料で集中できる場所がほしい。
- ・宣伝やPRを手伝ってほしい。
- ・同じ挑戦をしている人とつながれる場や、合格者・成功者の体験談を聞ける場がほしい。(対面、オンラインどちらでも OK)

- ・挑戦する時間を確保するために、子育てしている親の負担を軽減する支援がほしい。
- ・受験先の情報を知ることができる仕組みや、将来の仕事をイメージするための情報を知る機会や、体験の機会を作ってほしい。
- ・勉強する場所（飲食可、Wi-Fi 整備、静か、会話可能など多様な場所）や若者向けの居場所が欲しい。

○少子化対策についてどんな支援策があると良いか

結婚前

- ・イベントで地域のつながりや出会いの場をつくる。多摩市民限定のアプリを作る。

妊娠・出産

- ・妊娠前から子育てについて相談ができたり、支援策を知ることができる機会があると良い。
- ・（子育てをポジティブに捉えてもらうために）子どもと触れ合うことができるイベントの開催。

子育て

- ・子どもを任せられる地域コミュニティの形成。
- ・親が休める場所、子どもの面倒をみてもらえる場所が欲しい。
- ・男性の育児休業取得の推進。
- ・市内で就職し、自宅・保育園・職場の距離を近くする。
- ・テレワークを推進する。
- ・企業の義務として、社内に託児所を作る施策を国が行う。
- ・住宅ごとにチームを作って相互に子どもを見守る。

共通

- ・支援策の名前を分かりやすくする。
- ・子育てに係る制度や設備の周知。
- ・多摩市に住む利点やシンボルの創出。
- ・様々な人が交流できる場所（コミュニティスペース）が欲しい。
- ・男女の区別や差別をなくす。
- ・地域で信頼できる人を増やす。
- ・地域や地区ごとに若者が主体となって地域活動できるコミュニティを設ける。

○少子化対策について自分や地域でできることは何か

- ・地域に住民（特に子ども）が集まれるような地域イベントの企画・実施。
- ・SNS で情報発信
- ・マンションや町内会等で子育て世帯や子ども同士が繋がれる場や機会を設ける。

2.3 総括

〈子どもの権利を守る取り組みについて〉

悩みや困りごとの相談について、行政の窓口や職員に相談するという意見は少なく、親や先生、信頼できる友達、身近な大人などに相談するという意見が多くありました。

また、相談機関を周知するための手法としては、LINE等のSNSやYouTube等の動画配信サイトを活用するという意見があった一方で、悩んでいる時はSNSから情報を得ることが難しいというお話から、ポスターの掲示やチラシの配布頻度を上げるといったご意見もいただきました。

困っている友だちにできることについては、相談に乗り、必要に応じて大人に頼る、相談機関を紹介するといった意見がありました。

〈挑戦について〉

現在挑戦していることについて、子ども・若者で共通していたのは語学や受験などの、勉強に関する内容でした。また、子どもでは運動やスポーツ、その他習い事や趣味に関する項目が多く、若者では就職に関することや、自身の仕事に関する項目がありました。後押ししてほしいことについては、子ども・若者共通して、集中できる場所や練習する場所がほしいという意見が多く出ました。また、そのほかには同じ挑戦をして合格・成功した人の話を聞く機会が欲しい、専門的な分野に精通している人の話を聞く機会が欲しいなどの意見もありました。

〈少子化対策について〉

少子化対策については、結婚や子育てに対するイメージについて話していただいたうえで、支援策について検討していただきました。具体的な対策としては、結婚前の段階では、パートナーとの出会いの場を作ることが挙げられました。妊娠・出産の段階では、妊娠する前から子育てに関する情報が得られたり、相談ができる環境を整備することが挙げられました。子育ての段階では、男性の育児休業の取得推進や、子どもを任せられる地域コミュニティの形成、子育てに係る制度や設備の周知などの意見が多くありました。

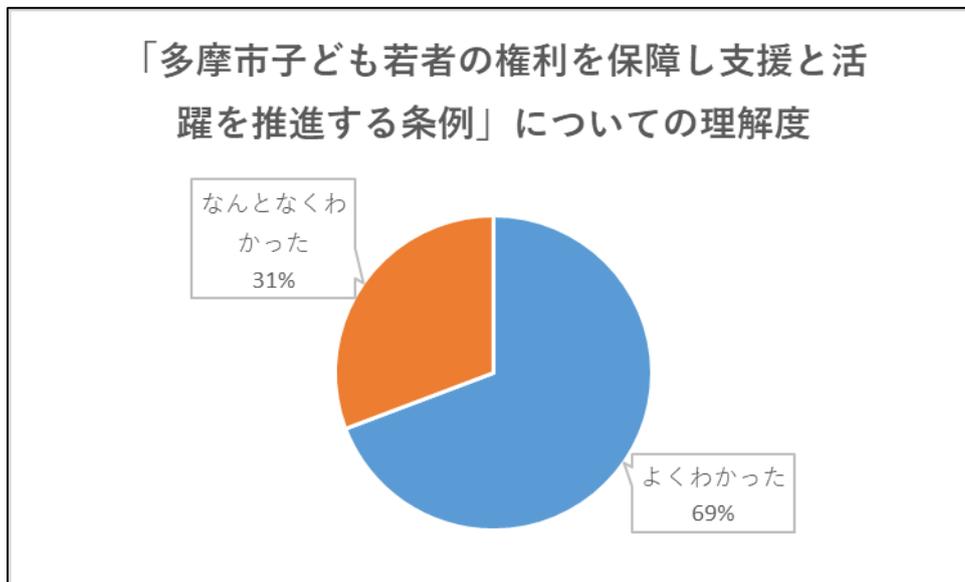
〈まとめ〉

子どもの権利や少子化対策について、共通して「施策の周知」についてご提案をいただきました。子ども・若者の当事者のみなさまに情報が届くよう、チラシやSNS、またイベント等を通じて周知に取り組んで参ります。また今回いただいたご意見については、今後の市の取り組みや、令和6年度に策定する(仮称)多摩市子ども・子育てに関する計画の参考にさせていただきます。たくさんのご意見をいただき、誠にありがとうございました。

3.参加者アンケート結果

3.1 子どもの部（標本数 N=15人）

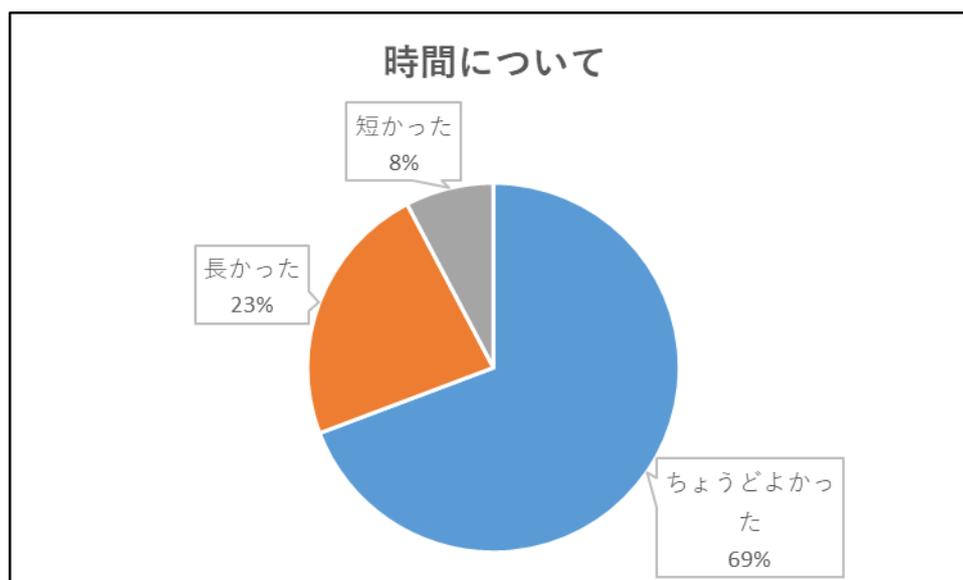
1. 「多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」についての理解度



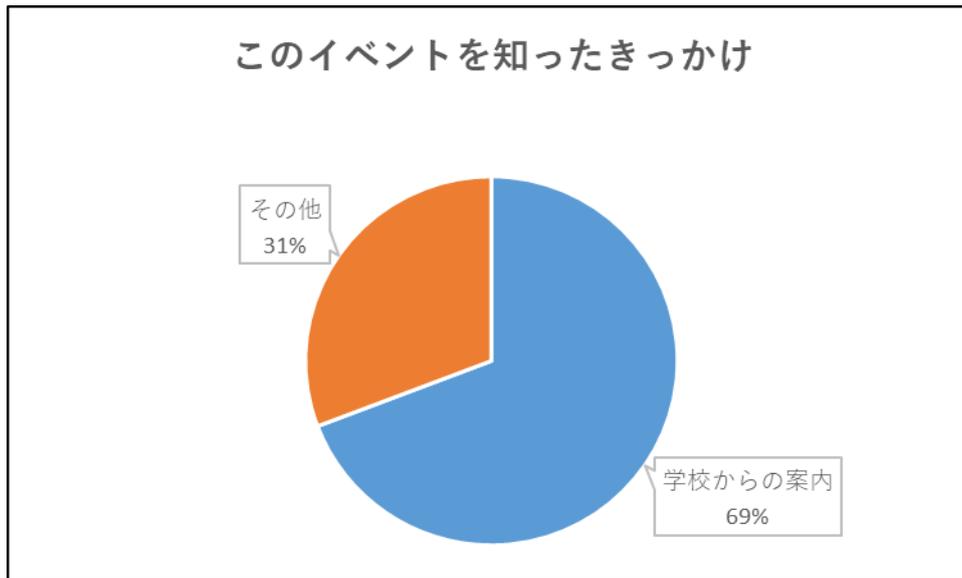
2. 今回のワークショップについて

回答した全ての参加者が「おもしろかった」と回答しました。

3. 時間について



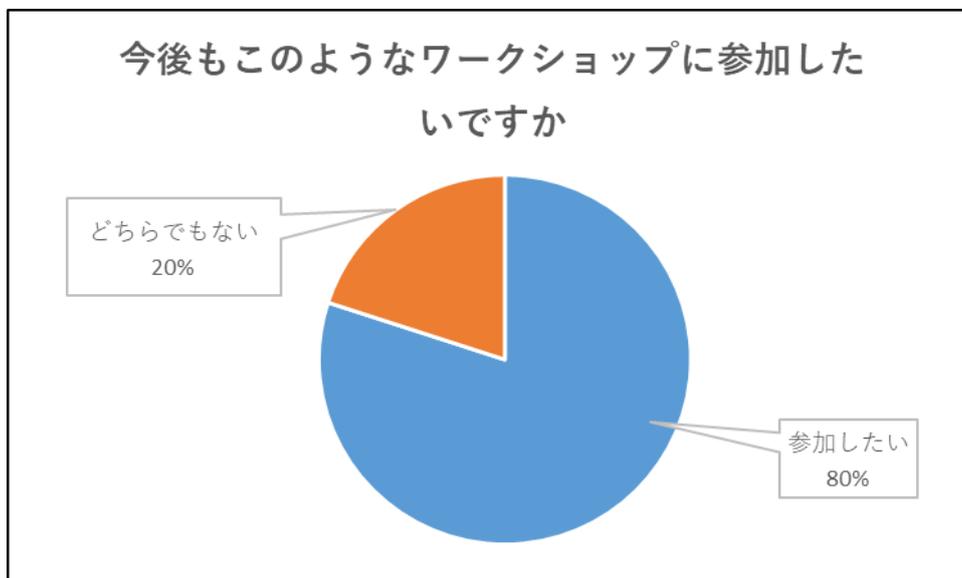
4. このイベントを知ったきっかけ



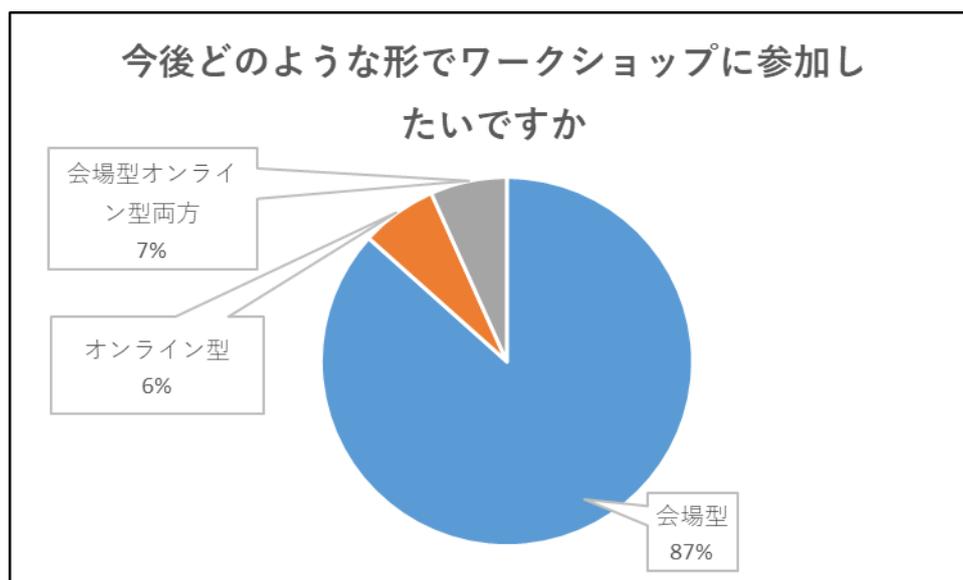
〈「その他」と回答した内訳〉

- ・親からの紹介…2件
- ・友達からの紹介…1件
- ・関係者からの紹介…1件

5. 今後もこのようなワークショップに参加したいですか



6. 今後どのような形でワークショップに参加したいですか



7. 今後みんなで考えてみたいテーマがあれば自由にご記入ください

【意見一覧】

- ・多摩市のSDGsについての課題、取り組みなどを考えること
- ・子ども向け会社の起業の仕方
- ・スポーツ講座(サッカー、テニス)
- ・おかし作り講座
- ・高校・大学に進学できれば専門的な体験等ができるが、事情があって進学できない人はどうしたらよいか?そのような人に対する支援は?

8. 感想やご意見等があれば自由にご記入ください

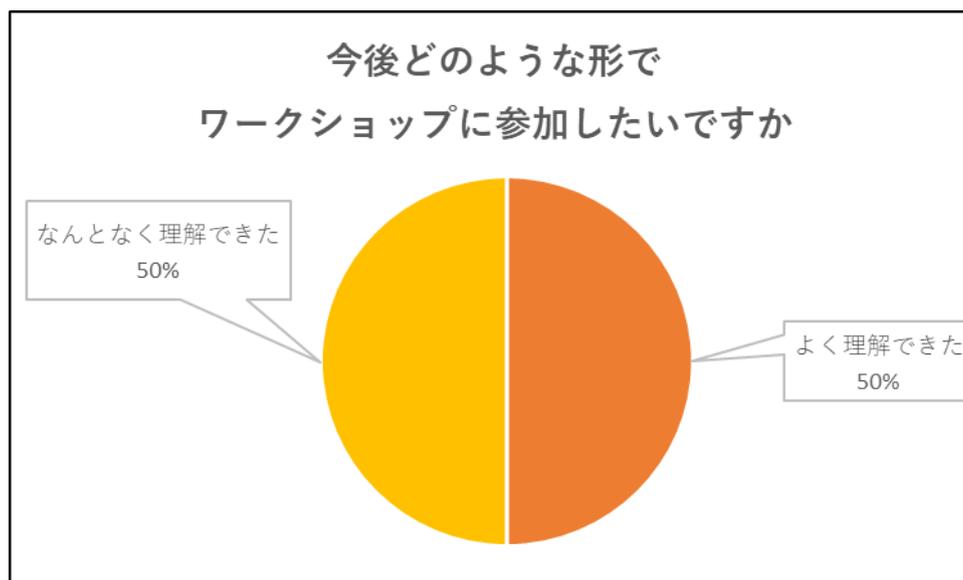
【意見一覧】

- ・やわらかい雰囲気できれいに話し合いができて楽しかったし良い経験ができたと思う。
- ・今回のようなさまざまな人との交流ができる形式の話し合いがよかったです。内容も自由で楽しかったです。次は、もう少し人数があつまってもいいと思いました。
- ・とても役に立つ講座でした。また参加したいです。ありがとうございました。
- ・自由に思っていることを言えるというのが良かった。
- ・楽しかったです。
- ・時間がちょうどよかったし、ちょっと短く感じた。
- ・初めてこういう場に参加したけど楽しかった。
- ・大人の方々のご丁寧な対応で、コミュニケーションがしやすかったです。ありがとうございました。
- ・色々な人の意見を聞き、そういう考えもあるんだなと思った。

- ・おもしろかった。
- ・また機会があれば参加したいと感じました。
- ・たのしくやることができた。
- ・今後も色々な人と意見交換する場があるといいなと思いました。

3.2 若者の部（標本数 N=14人）

1. 「多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」についての理解度



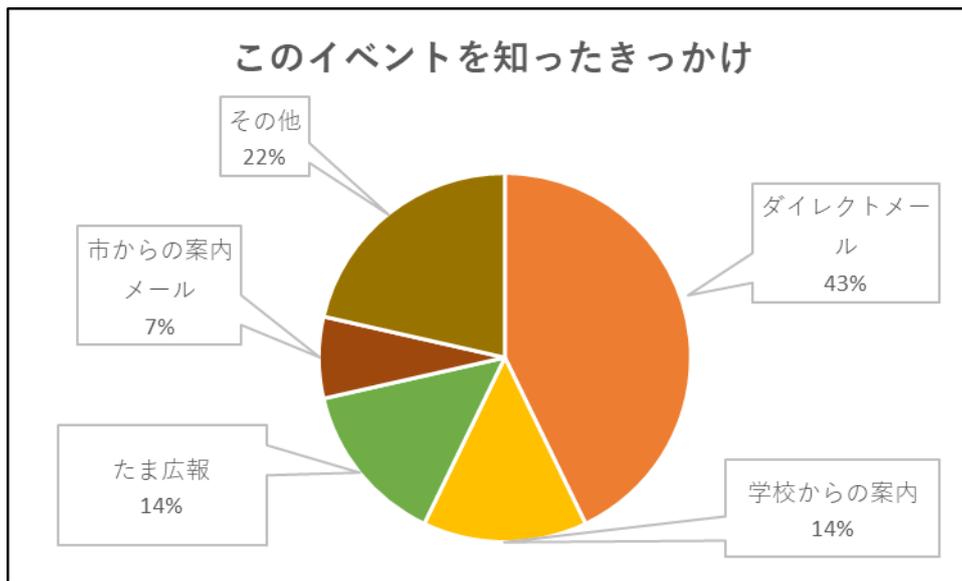
2. 今回のワークショップについて

回答した全ての参加者が「おもしろかった」と回答しました。

3. 時間について

回答した全ての参加者が「ちょうどよかった」と回答しました。

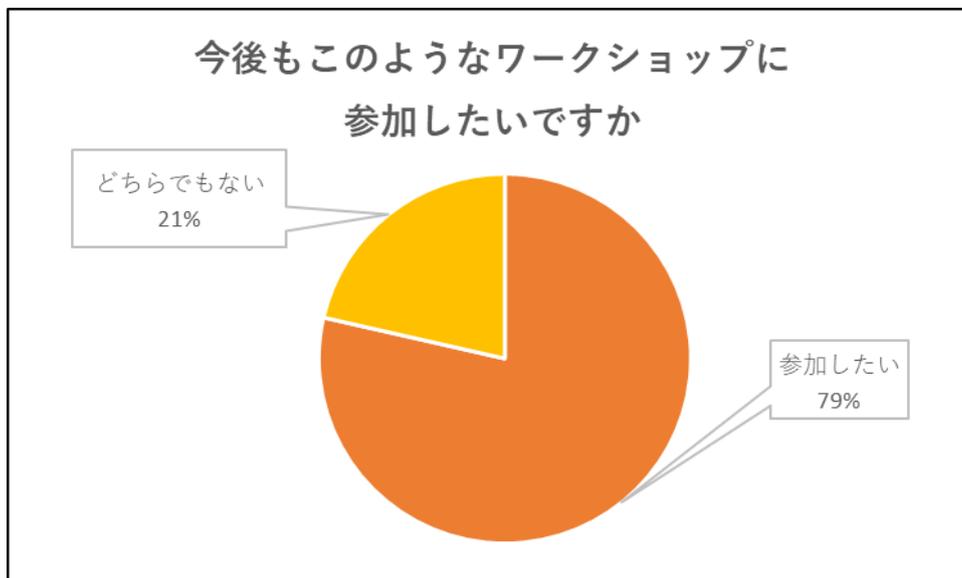
4. このイベントを知ったきっかけ



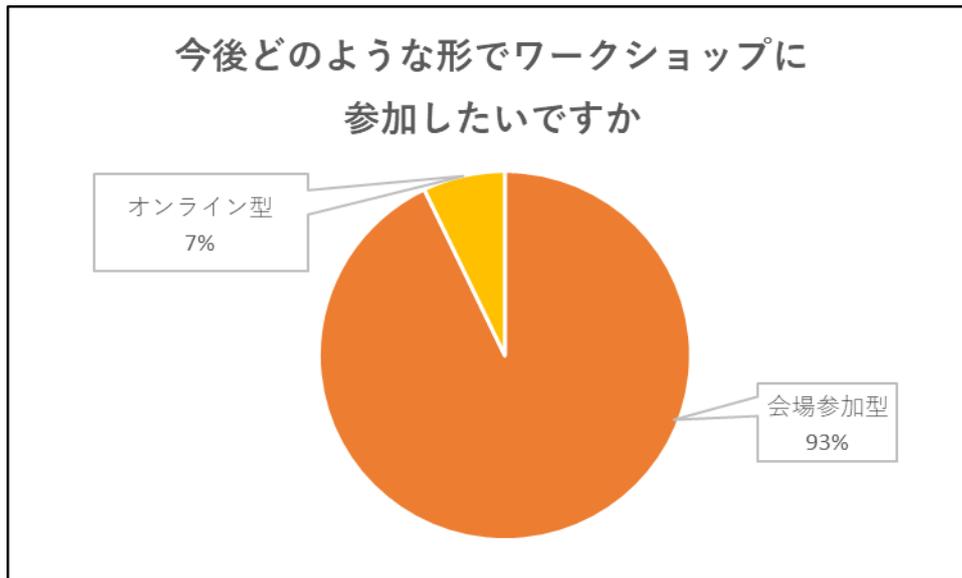
〈「その他」と回答した内訳〉

・関係者からの紹介…3件

5. 今後もこのようなワークショップに参加したいですか



6. 今後どのような形でワークショップに参加したいですか



7. 今後みんなで考えてみたいテーマがあれば自由にご記入ください

【意見一覧】

- ・多摩市について考えたい人と多摩市をもっと良くするようなアイデアを出して、実行までもっていきたい。
- ・今回の年齢層以上・以下の層の意識・意見の違い
- ・イベント企画
- ・介護について。親の介護で離職しないで済む方法や、高齢者が生き生きと生活するためにできること。認知症の高齢者を地域でどう支えるか。
- ・ジェンダーについて
- ・地域イベント
- ・高齢化

8. 感想やご意見等があれば自由にご記入ください

【意見一覧】

- ・また機会があれば参加したいです。
- ・とてもラフに面白くできてよかったです。
- ・フランクな雰囲気楽しかったです。
- ・若者の意見を聞いて面白かったです。
- ・普段喋ることのない人と交流できてとても楽しかったです。世代間交流としてこのような機会が今後大事になってくるのかなと思いました
- ・今回のワークショップで出たアイデアがどのように動いていくのか知りたい。

- ・正直、かなり支援は厚いので、あとは経済的ゆとり、時間的ゆとりだとも思う。各世帯の経済支援が急務。
- ・給付のような間接経費型よりも、控除による減税支援がほしい。
- ・少子高齢化については少し議題が難しかったです。でも、社会人の方からお話を聞く機会が貴重で、まず私自身勉強になりました。将来公務員を目指しているので、今日の経験を活かせたらと思います。
- ・また参加させてください!
- ・面白かった。
- ・とても有意義な時間でした。